

実際に商品を使用する際は、必ず商品に書いてある説明をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

【適用作物と使用方法】 「かぼちゃ」の適用が2010年4月7日付けで削除になりました

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及び4-CPAを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	使用目的	使用時期	希釈倍数	※総使用回数	使用方法
トマト	着果促進 果実の肥大促進 熟期の促進	開花前3日～開 花後3日位(1 花房で3～5花 位開花した時 期)	低温時(20℃以下) 50倍	1花房につき1回	散布
			高温時(20℃以上) 100倍		
ミニトマト		開花前3日～開 花後3日位	低温時(20℃以下) 50倍	1花につき1回	
			高温時(20℃以上) 100倍		
なす	開花当日	50倍	1花房につき1回		
しろり ズッキーニ			本剤：花に1回 4-CPA：1花につき1回		
メロン	着果促進	開花前日～翌日	3～5倍	本剤：花こう部に1回 4-CPA：1花につき1回	塗布
			25～100倍	本剤：花に1回 4-CPA：1花につき1回	散布

【効果・薬害等の注意】

- ①必ず記載の希釈倍数に従って水に溶かして使用してください。同じ花房に重複散布したり、所定濃度以上の濃い液の散布は薬害を生ずるおそれがあるのでさけてください。
- ②頂芽や幼葉にかかると、その部分が萎縮したようになるので、なるべく花房(花)にのみかかるように噴霧してください。
- ③メロンの花に噴霧を行う場合、子房だけに噴霧する時は、使用時期にかかわらず人工受粉を併用してください。また、低温時(20℃以下)には希釈倍率を低くし、高濃度で使用してください。
- ④ズッキーニに使用する場合、生育初期の雄花が少ない時期は結実が不安定であり、十分な効果が期待できないので使用しないでください。
- ⑤使い残りの希釈液は4週間程度の保存はできますが、なるべく早く使用してください。
- ⑥効果の有無は、散布後2～3日すると果梗が太くなり幼果のつやが増し、非常に発育が早くなるのでわかります。
- ⑦使用に際しては、本剤は植物ホルモン剤であるので、使用時期、使用量、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は病虫害防除所または販売店等と相談することが望ましいです。
- ⑧適用作物以外の作物に薬液がかからないように注意してください。
- ⑨他の農薬との混用は行わないでください。
- ⑩本剤散布に使用する容器、噴霧器等の用具は使用の前後に良く水洗してください。

【安全使用上の注意】 マスク着用

- ①薬剤が眼などに入らないよう眼や体から離して取り扱ってください。
- ②本剤は眼に対して刺激性がありますので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ③散布の際は農薬用マスクなどを着用してください。作業後は洗眼・うがいをしてください。